

ナラ枯れ被害防除技術の検討

【背景・目的】

- ・ナラ類枯損被害の南下傾向 ・被害は高齢化した大径木に多い ・高木林施行による里山林整備の推進 → 県下南部の里山におけるナラ枯れ被害蔓延の危険性
- 県下の里山林ナラ類の枯損被害の蔓延を防止する技術を検討する。

ナラ枯れ被害とは

- ・ナラ枯れとは、健全なブナ科樹木がカシノナガキクイムシ(以下、カシナガ)の穿入を受けた後に萎れて枯れる**伝染病**です。
- ・カシナガは樹木の中に坑道を掘り、菌類の胞子を貯蔵する器官から持ち込んだ菌類を坑道内で培養し、餌とする**養菌性キクイムシ**です。
- ・カシナガは餌となる菌類とともに**病原性のある「ナラ菌」**を樹体内に持ち込みます。
- ・カシナガの穿入を受けた樹木は、「ナラ菌」の蔓延に対して、**防御反応**を示す結果、**通水機能を失った変色域**を拡大させ、根から吸い上げた水が葉に届かなくなり、**萎凋枯れ**に至ります。



♂ ♀
カシノナガキクイムシ



ナラ枯れ被害の遠望



変色域

カシナガの坑道周辺に広がった辺材部の変色域

被害防除技術



伐倒・焼却処理



伐倒・NCSくん蒸処理



粘着剤の塗布



殺菌剤の注入

各種防除技術の評価

防除法	処理コスト	作業難易度	効果
・ビニールシート被覆	資材:低 労賃:高	やや難	高
・伐倒・焼却	労賃:高	危険性:大	高
・伐倒・NCSくん蒸	労賃:高	危険性:大	高
・粘着剤の塗布	資材:普通 労賃:普通	安易	中
・殺菌剤の注入	資材:高 労賃:安	安易	中



ビニールシート被覆

【技術の活用】

現場での諸事情を考慮し、実施可能な技術を選択または組み合わせて実施するよう普及、指導している。